

# 特別区の人口ビジョンと 地方版総合戦略

## 関連資料

### 【人口ビジョン関連】

- 資料3-1 各区別将来人口推計
- 資料3-2 各区別将来人口推計の経年変化
- 資料3-3 各区別将来人口推計の経年変化グラフ
- 資料3-4 各区年齢3区分別の人口構成の変化
- 資料3-5 各区の人口動向分析からみえる現状と課題、今後の取組の方向性

### 【地方版総合戦略関連】

- 資料3-6 各区の総合戦略における基本目標
- 資料3-7 総合戦略の具体的施策（少子高齢社会への対応）
- 資料3-8 総合戦略の具体的施策（自治体間連携）
- 資料3-9 総合戦略に掲載されている自治体間連携に関する事業（各区一覧表）

各区別将来人口推計

資料3-1

No.	区名	基準人口	2015年	2060年	出生率(注)		他の比較推計パターン ※基準とした推計がなく、複数推計 している場合	備考
			平成27年 人口(人)	平成72年 人口(人)	現状値(H26)	将来仮定値		
1	千代田区	22国調	53,547	81,182	1.34	1.38	—	
2	中央区	28.1.1住基	142,995 ※H28.1.1住基	208,684 ※H38推計値	1.35	—	—	推計期間：H58まで 数値はH38までのみ、以降の 数値記載なし
3	港区	27.1.1住基	240,585	292,639	1.39	—	—	
4	新宿区	22国調	348,105	354,459	0.97	—	—	
5	文京区	22国調	211,055	196,419	1.13	1.4 ※H42に 上昇と仮定	—	
6	台東区	27.4.1住基	190,363	206,347	1.22	1.08 ※H17~26の 平均値で推移	—	
7	墨田区	27.4.1住基	259,253	302,077	1.22	1.76 ※H52に 上昇と仮定	—	
8	江東区	26.1.1住基	487,142 ※H26	585,772 ※H41推計値	1.33	1.23	—	推計期間：H41まで
9	品川区	27.4.1住基	362,896	332,989	1.14	—	・高位推計(社会移動の増加基調が当面 続く設定) ・低位推計(社会移動が微減傾向を示す 設定)	日本人のみ
10	目黒区	27.10.1住基	271,401	262,363	1.05	1.50 ※H52に 上昇と仮定	—	
11	大田区	22国調	710,243	754,527	1.19	—	—	
12	世田谷区	27.1.1住基	874,332	1,055,084 ※H62推計値	1.10	1.21 ※H62に 上昇と仮定	—	
13	渋谷区	27.4.1住基	218,000	218,000	1.02	1.80 ※H52に 上昇と仮定	—	
14	中野区	27.4.1住基	318,530	315,507	0.99	1.65 ※H52に 上昇と仮定	—	
15	杉並区	26.1.1住基	546,722	460,284	0.99	1.38 ※H52に 上昇と仮定	・出生率0.95、移動率平均値 ・出生率1.38、最終移動率10%減 ・出生率1.38、最終移動率50%減	
16	豊島区	27.6.1住基	279,473	301,925	1.00	1.20 ※H37に 上昇と仮定	—	
17	北区	22国調	340,674	323,719	1.20	1.80 ※H52に 上昇と仮定	—	基準人口：社人研推計値を参 考
18	荒川区	27.1.1住基	209,087	229,358	1.34	1.43 ※H37に 上昇と仮定	—	
19	板橋区	22国調	549,080	480,459	1.16	—	—	
20	練馬区	27.1.1住基	714,656	677,062	1.21	—	—	
21	足立区							未策定
22	葛飾区	22国調	444,311	381,317	1.37	—	—	
23	江戸川区	22国調	680,000	635,000	1.39	1.39 ※H26実績値で 推移	—	

○ここでの数値は、各区の人口ビジョンから基準とした推計結果を記載しています。  
 なお、複数パターン比較している場合で、基準とした推計が示されていない場合は、中位レベルのものを事務局で選択しています。  
 (注) 現状の出生率 出典：平成26年東京都人口動態統計年報(東京都福祉保健局総務部総務課統計調査係)  
 将来仮定値は人口ビジョンで推計の考え方に記載されているもののみ記載しています。

参考	東京都 (区部)	22国調	9,110,000	7,410,000	—		—	
参考	東京都 (全体)	22国調	13,330,000	10,360,000	1.15		—	
参考	国		127,110,047	101,940,000	1.42	2.07 ※H52に 上昇と仮定	—	H27人口は27国調(速報値)

## 各区分別将来人口推計の経年変化

資料3-2

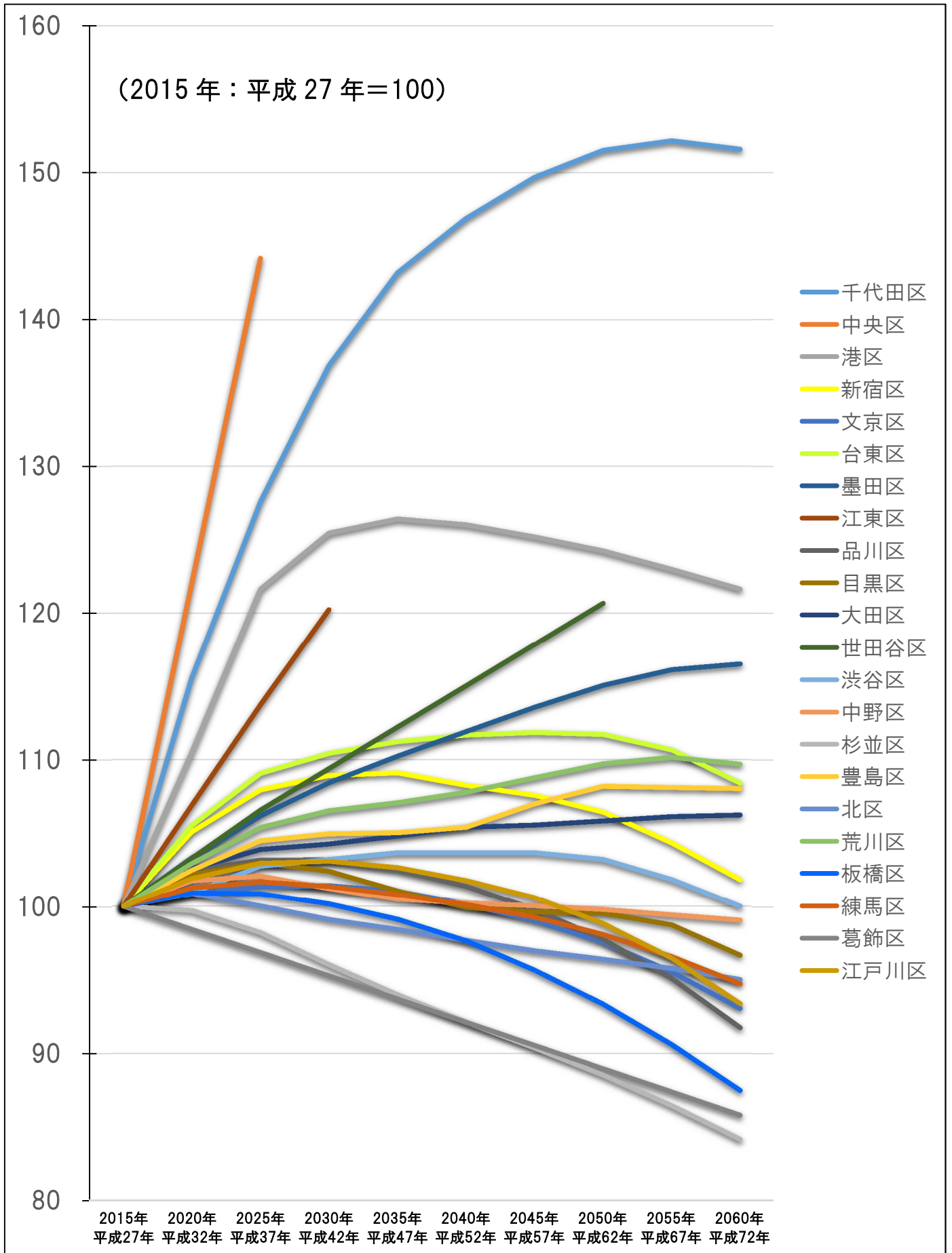
の網掛けは、各区における5年ごとの人口変化を見た場合のピークを表しています。  
※最終年度で人口増加中の場合はその年度で網掛けをしています。

No.	区名	2010年 平成22年	2015年 平成27年	2020年 平成32年	2025年 平成37年	2030年 平成42年	2035年 平成47年	2040年 平成52年	2045年 平成57年	2050年 平成62年	2055年 平成67年	2060年 平成72年	備考
1	千代田区	46,367	53,547	61,889	68,320	73,305	76,679	78,660	80,157	81,139	81,487	81,182	
2	中央区		142,995 (平成28年)	173,651	205,176								推計期間：H58まで 数値はH38までのみ、 以降の数値記載なし
3	港区		240,585	265,808	292,647	301,823	304,137	303,173	301,177	298,927	295,876	292,639	ピークH48 304,166人
4	新宿区	326,309	348,105	365,817	375,754	379,176	379,798	376,822	374,456	370,529	363,223	354,459	
5	文京区	206,626	211,055	212,929	213,870	214,059	213,223	211,387	208,976	205,879	201,625	196,419	
6	台東区		190,363	200,864	207,630	210,222	211,734	212,574	212,918	212,671	210,661	206,347	
7	墨田区	249,181	259,253	267,835	275,277	281,132	285,786	290,120	294,409	298,310	301,038	302,077	
8	江東区	455,459 (平成21年)	487,142 (平成26年)	520,698 (平成31年)	554,119 (平成36年)	585,772 (平成41年)							推計期間：H41まで
9	品川区		362,896	371,787	374,394	374,443	371,934	367,820	362,158	354,718	345,088	332,989	日本人のみ
10	目黒区		271,401	277,268	279,538	277,897	274,245	271,168	270,324	270,140	267,947	262,363	
11	大田区	693,373	710,243	728,510	737,880	740,506	744,377	748,584	749,625	751,643	753,772	754,527	
12	世田谷区		874,332		931,817					1,055,084			推計期間：H62まで
13	渋谷区		218,000	220,000	224,000	225,000	226,000	226,000	226,000	225,000	222,000	218,000	
14	中野区		318,530	324,078	325,149	322,402	320,105	319,253	318,631	317,813	316,646	315,507	
15	杉並区	538,682	546,722	545,160	536,890	525,005	513,795	503,729	494,098	484,040	472,781	460,284	
16	豊島区		279,473	286,405	292,016	293,310	293,522	294,564		302,370		301,925	ピークH66 303,107人
17	北区	335,543	340,674	343,667	340,759	337,597	335,317	332,764	330,353	328,390	326,265	323,719	
18	荒川区		209,087	215,208	220,342	222,728	223,870	225,344	227,425	229,415	230,334	229,358	
19	板橋区	535,823	549,080	554,133	553,795	549,952	544,250	536,182	525,235	512,571	497,554	480,459	
20	練馬区		714,656	723,642	726,668	724,446	720,401	715,567	709,263	700,940	690,120	677,062	
21	足立区												【未策定】
22	葛飾区	442,586	444,311	442,233	437,448	431,467	424,968	418,363	411,047	402,613	392,480	381,317	
23	江戸川区	679,000	680,000	693,000	700,000	701,000	698,000	692,000	684,000	672,000	656,000	635,000	

**【参考】**

参考	東京都 (区部)	8,950,000	9,110,000	9,170,000	9,150,000	9,060,000	8,910,000	8,700,000	8,470,000	8,190,000	7,830,000	7,410,000	
参考	東京都 (全体)	13,160,000	13,330,000	13,360,000	13,270,000	13,080,000	12,800,000	12,420,000	12,020,000	11,560,000	11,010,000	10,360,000	
参考	国		127,110,047									101,940,000	H27人口は27国調 (速報値) から

## 各区別将来人口推計の経年変化グラフ



※足立区は除く（人口ビジョン未策定のため）

（公財）特別区協議会事業部調査研究課作成

各区分年齢3区分別の人口構成の変化

資料3-4

No.	区名	人口構成比グラフ (%)						人口(人)					備考	
		※左から年少人口、生産年齢人口、老年人口の順						上段(現状(A) 2015年:平成27年)		下段(将来(B) 2060年:平成72年)				
		現状(2015年:平成27年)			⇒	将来(2060年:平成72年)			年少	生産年齢	老年	計		増減(B-A)
1	千代田区	11.7%	69.2%	19.1%	⇒	11.2%	51.8%	36.9%	6,271	37,068	10,208	53,547	27,635	
									9,119	42,092	29,971	81,182		
2	中央区	12.3%	71.5%	16.2%	⇒	14.8%	71.8%	13.4%	17,635	102,227	23,133	142,995	65,689	推計期間:H38まで 数値はH38までのみ、以降の数 値記載なし 【構成比・人口】 現状:H28の数値 将来:H38の数値
									30,923	149,826	27,935	208,684		
3	港区	12.3%	70.4%	17.4%	⇒	13.2%	60.3%	26.5%	29,519	169,317	41,749	240,585	52,055	
									38,609	176,607	77,424	292,640		
4	新宿区	8.1%	71.9%	20.0%	⇒	6.9%	59.1%	34.0%	28,119	250,199	69,787	348,105	6,354	
									24,635	209,340	120,484	354,459		
5	文京区	10.6%	68.6%	20.8%	⇒	10.8%	54.4%	34.8%	22,397	144,685	43,973	211,055	-14,636	
									21,157	106,854	68,408	196,419		
6	台東区	9.2%	67.0%	23.8%	⇒	8.4%	60.2%	31.3%	17,534	127,504	45,325	190,363	15,984	
									17,359	124,301	64,687	206,347		
7	墨田区	10.5%	66.7%	22.8%	⇒	13.2%	58.9%	27.9%	27,274	172,997	58,982	259,253	42,824	
									39,915	178,033	84,129	302,077		
8	江東区	12.5%	66.9%	20.6%	⇒	12.4%	67.4%	20.2%	60,996	325,873	100,273	487,142	98,630	推計期間:H41まで 【構成比・人口】 現状:H26の数値 将来:H41の数値
									72,882	394,800	118,090	585,772		
9	品川区	11.1%	67.4%	21.5%	⇒	10.3%	51.7%	38.0%	40,248	244,502	78,146	362,896	-29,907	日本人のみ
									34,144	172,233	126,612	332,989		
10	目黒区	10.6%	69.5%	20.0%	⇒	13.6%	50.6%	35.8%	28,656	188,577	54,168	271,401	-9,038	
									35,664	132,829	93,870	262,363		
11	大田区	11.1%	66.8%	22.1%	⇒	10.2%	64.0%	25.8%	79,229	474,357	156,656	710,242	44,285	
									77,245	482,508	194,774	754,527		
12	世田谷区	11.8%	68.0%	20.2%	⇒	13.1%	61.2%	25.7%	100,982	584,036	173,621	858,639	178,520	日本人のみ 将来:H62の推計値
									135,621	634,488	267,050	1,037,159		
13	渋谷区	老年人口 19.1%			⇒	老年人口 35.1%						218,000	0	年齢階級別数値記載なし 老年人口率のみ
											218,000			
14	中野区	8.6%	70.6%	20.8%	⇒	12.1%	59.0%	28.9%	27,474	224,800	66,256	318,530	-3,023	
									38,178	186,245	91,084	315,507		
15	杉並区	10.1%	68.9%	21.0%	⇒	13.0%	58.9%	28.1%	55,275	376,863	114,584	546,722	-86,438	
									59,900	271,170	129,214	460,284		
16	豊島区	8.6%	71.1%	20.3%	⇒	11.5%	60.6%	27.9%	24,073	198,742	56,658	279,473	22,452	
									34,733	182,833	84,359	301,925		
17	北区	9.8%	64.3%	25.9%	⇒	13.7%	54.5%	31.8%	33,460	218,978	88,237	340,675	-16,956	H27人口の総数が推計値(小 数点以下含む)合計のた め、ビジョン記載の数値と 異なる
									44,389	176,546	102,784	323,719		
18	荒川区	11.5%	65.3%	23.2%	⇒	13.8%	58.1%	28.2%	24,093	136,567	48,427	209,087	20,271	
									31,579	133,170	64,609	229,358		
19	板橋区	10.5%	64.9%	24.6%	⇒	8.5%	52.4%	39.1%	57,622	356,580	134,878	549,080	-68,621	
									40,677	251,887	187,895	480,459		
20	練馬区	12.4%	66.3%	21.3%	⇒	10.8%	61.5%	27.6%	88,479	473,733	152,444	714,656	-37,594	
									73,427	416,675	186,960	677,062		
21	足立区				⇒									未策定
22	葛飾区	12.0%	63.2%	24.8%	⇒	12.8%	55.3%	31.9%				444,311	-62,993	H72人口の総数が推計値(小 数点以下含む)合計のた め、ビジョン記載の数値と 異なる
									48,701	210,957	121,660	381,318		
23	江戸川区	13.7%	65.8%	20.5%	⇒	10.8%	57.4%	31.8%				680,000	-45,000	年齢階級別数値記載なし 構成比のみ
											635,000			

(注) 人口構成比グラフは、端数処理のため合計が100%とならない。

(公財) 特別区協議会事業部調査課作成

## 各区の人口動向分析から見える現状と課題、今後の取組の方向性

● 少子化、● 高齢化、● 人口構成、● 定住、● 地域の活力、● 税財政・施設

区	現状	課題・人口変化が与える影響	今後の取組の方向性・展望
千代田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～40 代の転入超過が大きい</li> <li>・出生数増加傾向</li> <li>・ほぼ社会増による人口増</li> <li>・社会増の変動が激しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設の維持管理への影響</li> <li>● 財政への影響(生産年齢人口減少に伴う区民税の減収、高齢化対応、子育て支援のための扶助費増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 若い世代の出産・子育ての希望を実現するための取組み</li> <li>② 誰もが住み続けたいと思える豊かな地域社会を実現するための取組み</li> </ul>
中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 歳代後半～40 歳代の転入超過</li> <li>・社会増減、自然増減ともに上昇傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅地開発事業や 2020 オリパラ後の選手村の住宅転用に伴い増大する行政需要への対応</li> </ul>	<p>現在策定中の新たな基本構想や今後策定予定の基本計画において、将来展望や施策の方向性を示していく</p>
港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模開発による 20～30 歳代流入</li> <li>・出生数、合計特殊出生率ともに上昇</li> <li>・社会増減、自然増減ともに上昇傾向</li> <li>・社会経済情勢の影響大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港区で生まれた子どもたちの定着</li> <li>● 港区で出産・子育てという循環による転入に頼らない安定した人口構造の実現</li> <li>● 今後の高齢人口の増加への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 結婚、出産、育児、教育と連なる切れ目のない施策の展開</li> <li>② 生涯をとらして港区で暮らし続けることができるような地域社会の構築</li> </ul>
新宿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然減を大きく上回る社会増</li> <li>・生産年齢人口割合が高い</li> <li>・年少人口割合が低い</li> <li>・単身、高齢単身世帯割合が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年少人口と生産年齢人口の減少</li> <li>● 高齢者人口の増加</li> <li>● 単身化・未婚化の進行</li> <li>● 老朽化した施設の統廃合や多機能化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 若い世代が安心して子育てをすることができるまち</li> <li>② 「新宿」の強みを活かし、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち</li> </ul>
文京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定幅の社会増</li> <li>・自然増数の拡大傾向</li> <li>・生産年齢人口の減少傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産年齢人口、年少人口は減少へ転じ、老年人口は引き続き増加を続けるものと予測され、税収入や社会保障関係経費の動向に留意した中長期的な視点に立った財政運営が必要</li> </ul>	<p>パターン1(社人研推計準拠)による人口の将来推計の結果を回避するために、「基本構想」の中から、①子育て支援、②高齢者福祉、③産業振興、④観光・交流の 4 つの視点を地方創生の柱として位置づける</p>
台東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 歳代で転入超過</li> <li>・30～40 歳代の転入超過数が減</li> <li>・0～4 歳の転出超過数が増</li> <li>・長期的な昼間人口の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若年層の定住や安定した就労を支える環境づくり</li> <li>● 妊娠、出産、子育ての希望をかなえるための取組み</li> <li>● 選ばれ住み続けられる魅力あるまちづくりに向けた取組み</li> <li>● 人口減少・少子高齢化の進行を見据えた地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 理想とする子供数の実現に向けた出産・子育て支援</li> <li>② 経済的安定の確保に向けた就労支援</li> <li>③ 生涯にわたって住み続けられる環境整備</li> <li>④ 地域産業の活性化、まちの魅力の創出</li> </ul>



区	現状	課題・人口変化が与える影響	今後の取組の方向性・展望
墨田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会動態の急増</li> <li>・20歳代が突出して転入超過</li> <li>・0～4歳が転出超過</li> <li>・自然動態は減少傾向</li> <li>・75歳以上が年少人口を上回る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらなる高齢化の進行への対応</li> <li>●子育て世代等の転入の促進</li> <li>●多様な人々が暮らしやすいまちづくり</li> <li>●若者が結婚しやすい環境づくり</li> <li>●経済価値を生み出し、生活者の利便性を支える産業の基盤づくり</li> </ul>	<p>2025(平成 37)年は 275,000 人、2060(平成 72)年に 300,000 人とすることをめざす</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 若い世代が安心して子供を産み育てられる環境づくり</li> <li>② 若い世代を含む誰もが住み続けたい、また、住んでみたい環境づくり</li> <li>③ 産業の活性化及び安心して暮らし、働き続けることができる、また、働いてみたい環境づくり</li> </ol>
江東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に人口増</li> </ul>	<p>本区が取組む分野は、国の示す4つの分野のうち、長期計画（後期）の「分野別計画」における「子育て支援」関連施策とする。①安心してこどもを産み、育てられる環境の充実／②こどもの未来を育む地域社会づくり／③健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実</p>	
品川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入総数のうち、約7割が20～30歳代</li> <li>・15～34歳の年齢層は転入超過</li> <li>・転出者の約半数は都内に転出</li> <li>・出生数は、近年、増加傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生産年齢人口の減少は、人口総数の減少以上に地域の社会経済に大きく影響</li> <li>●老年人口が大きく増加</li> <li>●合計特殊出生率は人口置換水準を下回る</li> <li>●全国的な人口減少による区への転入人口送出力の低下</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 生産年齢人口の減少を緩やかにし、安定的かつ強固な人口構造を確保</li> <li>② 引き続き出生数を増加し、人口の自然減への転換を遅らせ、その進展を緩やかにする</li> </ol> <p>① 若年者の転入傾向を維持、出産・子育て・定住を促進し、また多様な世代の定住性の向上を図る</p>
目黒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳代の大幅な転入超過により社会増を維持</li> <li>・10～30歳代で転入超過傾向</li> <li>・自然増の傾向、出生数は増加傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数年先には総人口が減少に転じ、一方、高齢者人口は今後も増加</li> <li>●人口減少や人口構造の変化は、様々な分野への影響が想定</li> <li>●生産年齢人口の減少による生産力の低下</li> </ul>	<p>子どもを生み育てたい人の希望をかなえ、平成 52 (2040) 年に希望出生率 (1.50) を実現することを人口に関する目指す方向とし、人口の維持・増加に向けた取組を推進する</p>
大田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然減、社会増が継続</li> <li>・年齢3区分別の人口はいずれも増加傾向</li> <li>・構成比では年少人口の低下が始まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昼間人口増に伴う商業活性化への期待</li> <li>●年少人口及び女性就業人口の変動に伴う保育園や学校等のインフラ管理</li> <li>●老年人口の増加に伴う高齢者支援施設のインフラ確保</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 若者・子育て世代への支援</li> <li>② 高齢社会への対応</li> <li>③ 産業構造の変化への対応</li> <li>④ まちの魅力のさらなる向上</li> <li>⑤ 効果的・効率的な区政運営</li> </ol>

区	現状	課題・人口変化が与える影響	今後の取組の方向性・展望
世田谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳前後の大幅な転入超過</li> <li>・0～4歳、男性30～44歳、女性35～39歳に顕著な転出超過</li> <li>・30代の母親年齢層の増加により自然増維持</li> <li>・転入の約8割が1都3県から転入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年少人口増による待機児童数の増加</li> <li>●介護サービス不足</li> <li>●住宅供給増による良好な自然環境の喪失</li> <li>●児童福祉費・高齢者福祉費の増大と支え手である生産年齢人口の負担増</li> <li>●公共施設の再配置や用途の見直し</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 転出しなくとも安心して子育てができる環境を整え、人口減少社会の克服を目指す</li> <li>② みどり豊かな住環境の維持・向上を図り、「住みたいまち世田谷」を目指す</li> <li>③ 暮らしやすさの実現により、年齢にかかわらず「住み続けたいまち世田谷」を目指す</li> </ol>
渋谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15～34歳が転入超過</li> <li>・一貫して社会増、自然増減は均衡</li> <li>・合計特殊出生率は上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉需要の増大</li> <li>●公共施設などインフラニーズの変化</li> <li>●区の施策継続に必要な住民税の減少</li> </ul>	<p>2060年まで20万人程度の人口を維持</p> <p>2025年までに合計特殊出生率1.34を実現、2040年までに国民希望出生率1.8を実現、転出入均衡を実現</p>
中野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層を中心とする転入超過</li> <li>・30～34歳が最多年齢層</li> <li>・自然減が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老年人口の増加と生産年齢人口の減少</li> <li>●合計特殊出生率は低いものの上昇傾向</li> <li>●●地域社会・地域経済の縮小、社会保障費の負担増</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 人口移動—子どもを生む世代の定着を図る</li> <li>② 合計特殊出生率—2014実績0.99を、前年比2%ずつ上昇で2040年までに1.65とする</li> <li>③ 安心して子どもを産み、育て、住み続けられる環境をつくり、少子化を克服する</li> </ol>
杉並	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学・就職を契機に、若年層（およそ18～26歳）が大幅な転入超過</li> <li>・30歳ころから転出超過</li> <li>・自然減となる年もある</li> <li>・都内転入5割、20～24歳は3割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口が増加傾向にあるが楽観視できない</li> <li>●合計特殊出生率のさらなる向上が必要</li> <li>●区の人口は、若年層の転入を主要因として維持、増加している</li> <li>●交通が利便な自治体が近隣にもある</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 出生率（数）の向上</li> <li>② 人口構造（3区分別人口のバランス）変化への対応</li> <li>③ 選ばれる、住み続けられるまちづくり</li> <li>④ 都市と地方の連携</li> <li>⑤ プラスサムの取組—二地域居住、来街者等</li> </ol>
豊島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15～29歳の転出入が活発</li> <li>・定住率が低い</li> <li>・社会増、自然減が継続</li> <li>・高齢単身世帯の増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別区民税—人口構成の変化に伴い減収</li> <li>●財政収支—65歳以上人口増による扶助費、特別会計繰入金増に伴い財源不足</li> <li>●公共施設の維持管理への影響—更新経費</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 国の支援策に加え、区独自の結婚・出産・子育て支援策により合計特殊出生率を1.20まで改善</li> <li>② 今までのような地方からの人口流入は望めないとの視点に基づき、特に若い世代の定住化を促進</li> </ol>



区	現状	課題・人口変化が与える影響	今後の取組の方向性・展望
北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な自然減、社会増減が変動</li> <li>・20歳代は流入、30歳代は流出減</li> <li>・加速する高齢化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティやまちの活力低下</li> <li>●増大する行政需要に見合う歳入確保</li> <li>●介護人材や介護施設の不足</li> <li>●施設の統廃合、多機能化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 自然増の向上を目指し、人口減少に歯止めをかける</li> <li>② 子育てファミリー層・若年層の定住化を図り、超高齢社会を抑制し、年齢構成のアンバランスを是正する</li> </ol>
荒川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年世代の人口移動が活発</li> <li>・社会増が継続、高い流動性</li> <li>・年少人口割合が上昇傾向</li> <li>・自然動態はマイナス継続</li> <li>・合計特殊出生率は上昇傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化の進行</li> <li>●出生率の低さー転入者の多さに頼る人口</li> <li>●人口の流動性の高さ（特に若年世代）</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 出生率の向上ー若年世代が結婚、出産、子育ての希望を実現できるように、子育て・教育環境を整備</li> <li>② 定住化の促進ー子育て世代である20～40代を中心に定住化を進めていくことが有効、子育て世代及びその子ども世代が定住するような環境整備</li> </ol>
板橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳代前半は一貫して転入超過</li> <li>・出生数は微増、横ばい</li> <li>・平成17年から22年の人口移動の状況を見ると、0～4歳の転出割合が高く、子育て世代の特定年齢層は転出超過と推察</li> <li>・区と近接・隣接する地域間との移動が活発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期的な人口増加の展望は難しい</li> <li>●出産年齢の高齢化</li> <li>●理想と予定している子どもの数が乖離</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 人口減少を緩やかに推移するよう施策に取り組む</li> <li>② 希望どおり結婚・出産・子育てできる環境整備</li> <li>③ 近接・隣接する地域の中で人々に選ばれるまちとして、区の魅力を高める</li> </ol>
練馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25年以降、転入超過傾向顕著</li> <li>・自然増数は大きく低下</li> <li>・年少人口、子育て世帯の比率が高</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの成長と子育ての総合的な支援</li> <li>(2) 安心して生活できる福祉・医療の充実</li> <li>(3) 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備</li> </ol> <p>※上記は、平成27年3月策定の「みどりの風吹くまちビジョン」の主要施策の方向性を示した5つの柱（戦略計画）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(4) 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり</li> <li>(5) ビジョンの実現のために</li> </ol>
葛飾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学や就職に伴う10代後半～20代の転入超過による社会増</li> <li>・ファミリー層の転出超過傾向</li> <li>・近年は再開発事業による転入増</li> <li>・急速な高齢化による自然減基調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化の進展やそれに伴う各種財政支出の増加・介護等の人手不足</li> <li>●消費活動や生産活動の縮小による地域経済への影響</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 駅周辺等の街づくりなど都市基盤の整備による利便性の向上と良質な住宅確保などを着実に進め、社会動態による人口増を図る</li> <li>② ファミリー層の転出傾向、生産年齢人口の減少、特に20代、30代の女性人口の減少に対する施策</li> </ol>

区	現状	課題・人口変化が与える影響	今後の取組の方向性・展望
江戸川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方からの10代～20代の転入超過に支えられ一貫して社会増</li> <li>・自然増基調が継続</li> <li>・高齢者数の急増、死亡者数の増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主に地方からの転入が多く、区の社会動態の増幅幅は今後縮小する</li> <li>●自然減局面に入る可能性が高まっている</li> <li>●20代・30代女性人口の減少</li> <li>●乳幼児～就学前児童を抱えるファミリー層の定着が進んでいない</li> <li>●生活拠点として近隣自治体を選択される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出生者数増加に向けた取組みの強化</li> <li>② 定住化に繋げるための、住みたい街、住み続けたい街に向けた魅力ある街づくり</li> <li>③ 高齢化社会への対応</li> <li>④ 域内外との交流人口やモノの動きを増やした双方の地域経済・社会の活性化</li> </ul>

## 各区の総合戦略における基本目標

資料3-6

No.	区名	目標	基本目標	分野(※)					基本構想・基本計画・実施計画等	区名
				子	高	住	活	連		
1	千代田区	1	若い世代の出産・子育ての希望をかなえるとともに、安心して働けるようにする	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次長期総合計画「基本構想」(平成13年10月策定)</li> <li>・ちよだみらいプロジェクトー千代田区第3次基本計画2015ー(平成27～36年度)</li> </ul>	千代田区
		2	豊かな地域コミュニティが息づくまちづくりを進める		●	●				
		3	地方との連携を推進し、区の魅力と活力を高め発信する				●	●		
2	中央区		現在策定中						<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区基本構想(平成10年6月策定)</li> <li>・中央区基本計画2013(平成25～34年度)</li> </ul> ※現在、新たな中央区基本構想の策定に向けて審議中	中央区
3	港区	1	港区と全国各地の自治体がともに成長・発展し、共存・共栄を図る					●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次港区基本構想(平成14年12月策定)</li> <li>・港区基本計画(平成27～32年度)</li> <li>・港区実施計画(平成27～29年度)</li> </ul>	港区
		2	産業・文化を活性化し、魅力あるまちをつくる				●			
		3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	●						
		4	安全・安心な暮らしを守り、支え合う地域をつくる		●	●				
4	新宿区	1	賑わい都市・新宿を創造する				●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区基本構想(平成19年12月策定)</li> <li>・新宿区総合計画(平成20～29年度)</li> <li>・第一次実行計画(平成20～23年度)</li> <li>・第二次実行計画(平成24～27年度)</li> <li>・第三次実行計画(平成28～29年度)</li> </ul>	新宿区
		2	地方と連携し共に発展する					●		
		3	子育てしやすいまちとして選ばれる都市をつくる	●						
		4	心豊かに自分らしく生きることができる地域社会の実現		●	●				
		5	高度防災都市化と安全安心の強化			●				
5	文京区	1	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>・文京区基本構想(平成22年6月策定)</li> <li>・文京区基本構想実施計画(平成26～28年度)</li> </ul>	文京区
		2	歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち		●					
		3	豊かな区民生活を支える、活力みなぎる産業と商店のあるまち				●			
		4	何度も訪れたいくなる、魅力とおもてなしの心あふれるまち 交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合うまち				●	●		

(※)子…結婚・出産・子育て、高…高齢化への対応、住…定住化、安心安全なまちづくり、活…地域の活力・産業・観光、連…自治体間交流・連携  
(公財)特別区協議会事業部調査研究課作成

No.	区名	目標	基本目標	分野(※)					基本構想・基本計画・実施計画等	区名
				子	高	住	活	連		
6	台東区	1	安心して子供を産み育てられる環境の整備	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>・台東区基本構想（平成16年10月策定）</li> <li>・台東区長期総合計画（平成27～36年度）</li> <li>・台東区行政計画（平成27～29年度）</li> </ul>	台東区
		2	住み続けられる暮らしやすい地域環境の整備		●	●				
		3	地域の活力を支える地域産業の振興				●			
		4	国際文化観光・交流都市の形成				●	●		
7	墨田区	1	「暮らし続けたいまち」の実現	●		●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨田区基本構想（平成18～37年）</li> <li>・墨田区基本計画（平成28～37年度）</li> </ul>	墨田区	
		2	「働き続けたいまち」の実現				●			
		3	「訪れたいまち」の実現				●			●
8	江東区	1	保育サービスの充実	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・江東区基本構想（平成21年3月策定）</li> <li>・江東区長期計画（後期）（平成27～31年度）</li> </ul>	江東区	
		2	子育て家庭への支援	●						
		3	地域ぐるみの子育て家庭への支援	●						
		4	保健・医療施策の充実	●						
9	品川区	1	安心して子どもを産み、楽しく子育てができるまちをつくる	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・品川区基本構想（平成20年4月策定）</li> <li>・品川区長期基本計画（平成21～30年度）</li> <li>・品川区総合実施計画（第3次：平成26～28年度、第4次：平成28～30年度）</li> </ul>	品川区	
		2	地域を支える産業の活力を高め、魅力ある雇用の場を創出する		●		●			
		3	国際化への対応をさらに進めつつ、多様な地域との交流・連携を推進し、ともに発展する				●			●
		4	生涯にわたり住み続けたい安心と活力のあるまちをつくる		●	●	●			
10	目黒区	1	安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒区基本構想（平成12年10月策定）</li> <li>・目黒区基本計画（平成22～31年度）</li> <li>・目黒区実施計画（平成27～31年度）</li> </ul>	目黒区	
		2	住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる		●	●				
		3	新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す				●			●

(※)子…結婚・出産・子育て、高…高齢化への対応、住…定住化、安心安全なまちづくり、活…地域の活力・産業・観光、連…自治体間交流・連携  
(公財)特別区協議会事業部調査研究課作成

No.	区名	目標	基本目標	分野(※)					基本構想・基本計画・実施計画等	区名
				子	高	住	活	連		
11	大田区	1	様々な産業を支える世界トップレベルの技術力の集積や、人とのつながりにより、新たなチャレンジが次々と生まれる創造のまちを目指す				●		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想（平成20年10月策定）</li> <li>基本計画「おおた未来プラン10年（後期）（平成26～30年度）</li> </ul>	大田区
		2	羽田空港を擁する地の利を活かし、地方との連携・交流・共存共栄を図るとともに、国際都市としての発展を目指す				●	●		
		3	結婚・出産・子育て・教育などの希望を叶え、未来を担う若い世代の活力あふれるまちを目指す	●			●			
12	世田谷区	1	多くの世代の希望の実現	●	●				<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想（平成25年9月策定）</li> <li>基本計画（平成26～35年度）</li> <li>新実施計画（前期：平成26～29年度、後期：平成30～33年、調整：平成34～35年度）</li> </ul>	世田谷区
		2	地域人材と社会資源を活用した活力ある地域社会の構築		●	●	●			
		3	心豊かな暮らしを実現するための地方・都市との連携・交流					●		
13	渋谷区	1	にぎわいを創出する魅力あるまちづくりの推進				●		<ul style="list-style-type: none"> <li>渋谷区基本構想（平成8年3月策定）</li> <li>渋谷区実施計画2016（平成28～30年度）</li> <li>※渋谷区基本構想（平成28年度中改定予定）</li> <li>渋谷区長期基本計画・渋谷区実施計画（平成28年度中策定予定）</li> </ul>	渋谷区
		2	産みやすく、育てやすく、預けやすい まち 渋谷	●						
		3	ダイバーシティ&インクルージョンの推進		●		●			
14	中野区	1	安心して子どもを産み、育て、住み続けられる環境をつくり、少子化を克服する	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>中野区基本構想（平成28年3月策定）</li> <li>新しい中野をつくる10か年計画（第3次）（平成28～37年度）</li> </ul>	中野区
		2	すべての人が社会に参加し、支えあう、全員参加型社会を構築し、地域社会の力を高める		●	●				
		3	グローバルな展開を視野に入れたビジネスの活性化や、都市観光を推進し、中野のまちの都市の魅力を向上させ、地域経済の力を高める				●			
		4	地方と都市の連携強化により、相互発展を図る					●		
15	杉並区	1	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区基本構想（10年ビジョン）（平成24～33年度）</li> <li>杉並区総合計画（10年プラン）（平成24～33年度）</li> <li>杉並区実行計画（3年プログラム）（平成27～29年度）</li> </ul>	杉並区
		2	来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する				●			
		3	地方との連携により、豊かな暮らしをつくる		●			●		

(※)子…結婚・出産・子育て、高…高齢化への対応、住…定住化、安心安全なまちづくり、活…地域の活力・産業・観光、連…自治体間交流・連携（公財）特別区協議会事業部調査研究課作成

No.	区名	目標	基本目標	分野(※)					基本構想・基本計画・実施計画等	区名
				子	高	住	活	連		
16	豊島区	1	子どもと女性にやさしいまち	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区基本構想（平成27年3月策定）</li> <li>・豊島区基本計画（平成28～37年度）</li> <li>・豊島区実施計画（未来戦略推進プラン）（平成28～30年度）</li> </ul>	豊島区
		2	高齢になっても元気で住み続けられるまち		●					
		3	様々な地域と共生・交流を図り、豊かな生活を実現できるまち		●		●	●		
		4	日本の推進力の一翼を担う国際アート・カルチャー都市				●			
17	北区	1	「子育てするなら北区が一番」をより実感できるようにする	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区基本構想（平成11年6月策定）</li> <li>・北区基本計画2015（平成27～36年度）</li> <li>・北区中期計画（平成27～29年度）</li> </ul>	北区
		2	「女性」・「若者」・「高齢者」の活躍を応援する	●	●		●			
		3	「創造へのチャレンジ」によって、地域産業の活性化を図る				●			
		4	まちづくりの一層の推進を図り、北区の個性や魅力を発信する			●	●			
		5	他自治体と共に発展できる取り組みを進める					●		
18	荒川区	1	地域経済の活性化と就労の促進を図る			●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川区基本構想（平成19年3月策定）</li> <li>・荒川区基本計画（平成19～28年度）</li> <li>・荒川区実施計画（平成26～28年度）</li> </ul>	荒川区
		2	若い世代の出産・子育ての希望をかなえる	●		●				
		3	人と人がつながり、安全・安心で住みやすいまちをつくる			●		●		
		4	全国の自治体とプラスサムの関係を構築する					●		
19	板橋区	1	地域産業の活性化と安定した雇用の創出		●		●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区基本構想（平成27年10月策定）</li> <li>・板橋区基本計画2025（平成28～37年度）</li> <li>・いたばしNo.1実現プラン2018（平成28～30年度）</li> </ul>	板橋区
		2	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	●		●				
		3	都市の連携・再生と超高齢社会に適応した社会づくり		●	●		●		

(※)子…結婚・出産・子育て、高…高齢化への対応、住…定住化、安心安全なまちづくり、活…地域の活力・産業・観光、連…自治体間交流・連携  
(公財)特別区協議会事業部調査研究課作成



No.	区名	目標	基本目標	分野(※)					基本構想・基本計画・実施計画等	区名
				子	高	住	活	連		
20	練馬区	1	子どもの成長と子育ての総合的な支援	●					<ul style="list-style-type: none"> <li>練馬区基本構想（平成21年12月策定）</li> <li>みどりの風吹くまちビジョン（基本計画）（平成27～31年度）</li> <li>みどりの風吹くまちビジョンアクションプラン（実施計画）（平成27～29年度）</li> </ul>	練馬区
		2	安心して生活できる福祉・医療の充実		●					
		3	安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備			●				
		4	練馬区の魅力を楽しめるまちづくり				●			
		5	新たな区政の創造							
21	足立区								足立区	
22	葛飾区	1	街づくりの推進による本区の利便性の向上			●			<ul style="list-style-type: none"> <li>葛飾区基本構想（平成2年4月策定）</li> <li>葛飾区基本計画（平成25～34年度）</li> <li>葛飾区中期実施計画（平成28～31年度）</li> </ul>	葛飾区
		2	子育て環境の充実によるファミリー層の定住促進と出生者数の増加	●	●	●				
		3	区内産業の活性化や地方都市との連携による本区の魅力の向上				●	●		
23	江戸川区	1	希望の持てる子育てのまち	●		●			<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川区基本構想（平成14～33年度）</li> <li>江戸川区基本計画（後期）（平成24～33年度）</li> <li>江戸川区実施計画（平成27～29年度）</li> </ul>	江戸川区
		2	地域力を活かした魅力あふれるまち		●	●	●			
		3	地方との連携による共存・共栄					●		

(※)子…結婚・出産・子育て、高…高齢化への対応、住…定住化、安心安全なまちづくり、活…地域の活力・産業・観光、連…自治体間交流・連携  
(公財)特別区協議会事業部調査研究課作成

## 総合戦略の具体的な施策（少子高齢社会への対応）

### I 少子社会に関連した事業

#### 1 子育て環境の整備

結婚・妊娠前後・出産・乳幼児の時期・就学時の時期まで幅広く、各区の課題に応じ、切れ目ない支援を行うことを基本に各施策を打ち出している。

##### (1) 保育環境の整備充実

多様で良好な保育、子育て環境の実現のため、さまざまな取組みを実施

- ・待機児童対策
- ・保育人材の確保

##### (2) 地域の力による子育ての充実

子育ての力を持つ様々な団体や子育てを経験したシニア世代等との協働により地域社会が一体となって子育てに取り組む

- ・子育てコーディネーターの充実

##### (3) ワークライフバランスの推進の取組み

- ・事業者等への支援、働きかけ
- ・啓発活動

##### (4) その他、対象を絞った取組みなど

- ・虐待の未然防止
- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭の支援
- ・結婚、出会いの場の創出支援

#### 2 教育環境の整備

基本目標を達成するための施策に、教育に関係した柱を掲げている区が 8 区あり、各区の課題に応じ様々な施策を打ち出している。

##### (1) 学力向上に向けた取組み

- ・児童、生徒が、生きていくうえで基盤となる学力を身につける取組み  
(学習カルテ、少人数指導など)
- ・英語教育の推進
- ・ICT 活用

##### (2) 学校づくり

- ・魅力、特色ある学校づくり
- ・学校図書館の活用推進
- ・学校施設の改築、改善（校舎の改築、学校トイレ洋式化緊急整備、給食施設改善）

##### (3) 地域との連携による教育環境の充実

- ・すくすくスクール（人間性を育む）
- ・学校応援団
- ・地域協働学校

##### (4) その他の取組み

- ・健全育成（いじめ、不登校対策）
- ・小中や幼保小中連携の教育推進
- ・体力向上
- ・東京オリンピックを契機とした教育の推進
- ・安全、安心な学校（インターナショナルセーフスクール（※）認証の取得）

（※）WHO が推奨する安全な学校づくりのための仕組みが確立され昨日していると認められた学校が得られる国際認証（現在 11 小中学校、9 保育所）

（公財）特別区協議会事業部調査研究課作成

## Ⅱ 高齢社会に関連した事業

高齢社会対策を基本目標の柱の1つに掲げ取り組むとしている区、基本目標を達成するための施策に掲げる区があり、各区の課題に応じ様々な施策を打ち出している。

### (1) 高齢者が生きがいを持ち生活できる環境整備

高齢者の多様な活動を支援し、地域と関わりを持ち、地域活動の担い手として活動できる環境の整備

- ・地域コミュニティの形成支援
- ・シニア社会参画促進事業の推進
- ・シルバー人材センターの支援
- ・高齢者の就労支援

### (2) 地域の支えあい

- ・地域包括ケアシステム
- ・見守り施策
- ・コミュニティソーシャルワーカー（相談員）、サポーターの配置
- ・認知症サポーター養成、充実

### (3) 健康長寿の推進

- ・健康づくりの推進
- ・介護予防、地域介護予防活動支援事業
- ・認知症対策
- ・シルバー人材センターの支援、高齢者の就労支援

### (4) 保健福祉サービスの整備、充実

- ・特別養後老人ホームの充実
- ・地域密着型施設の充実
- ・介護、福祉人材の育成、発掘
- ・相談体制の強化（サポートセンター、総合相談センター、ふれあいステーションなど）

### (5) その他

- ・地域外での特別養護老人ホーム整備
- ・CCRC 構想

## 総合戦略の具体的な施策（自治体間連携）

### 1. 特色ある取組み

#### (1) 新規事業<sup>1</sup>

- ① 共通項のある自治体連携による相互発信力の強化
  - \* 地方との連携による広域観光ルートの確立と地方創生の推進（台東区、墨田区）
  - \* 夏目漱石コンクール（新宿区）、松山市観光俳句ポストの設置（荒川区）
  - \* 寅さんサミット、キャプテン翼CUPかつしか（葛飾区）
- ② 全国の自治体を対象とした新たな連携の呼びかけ
  - \* 特別区全国連携プロジェクト（千代田区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、品川区、大田区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、江戸川区）
  - \* 全国の自治体と連携した文化芸術の振興（港区）
  - \* 区と全国各地の自治体との交流や連携を生み出す拠点の整備（港区）
- ③ 移住や二地域居住など新たな暮らし方の提案
  - \* 長期滞在や二地域居住など新しい暮らし方の推進（中野区）
  - \* 南伊豆町「お試し移住事業」への参加支援（杉並区）
  - \* 小千谷滞在型農園の区民の利用支援（杉並区）
  - \* 豊島区版CCRC構想の推進（豊島区）
- ④ 既に交流している自治体との新たな関係づくり
  - \* （仮称）交流自治体連携フォーラム（世田谷区）
  - \* 交流自治体との広域連携（産業関連施策）ワークショップ（世田谷区）
  - \* 災害時協定締結自治体との広域連絡会（世田谷区）
  - \* 他都市との新たな連携・交流の推進－研究会設置（北区）
- ⑤ 新たな連携のあり方についての調査、検討体制の整備
  - \* 遠隔地自治体間連携の取組に関する調査・分析（千代田区）
  - \* 全国の自治体へのアンケート調査の実施（港区）
  - \* 庁内の自治体間連携を推進する体制の構築（港区）
  - \* 区内関係機関のネットワークの構築（港区）
- ⑥ その他
  - \* 自転車シェアリング連携事業（港区）
  - \* 東京 2020 オリ・パラ競技大会開催を通じた交流事業（世田谷区）
  - \* 川場村等交流自治体の自然エネルギー事業による連携（世田谷区）
  - \* 交流自治体とっておき情報の発信「てくてく」（杉並区）
  - \* 「すぎなみ地域おこし協力隊」の創設、活動支援（杉並区）
  - \* 交流自治体におけるふるさと就労体験の実施（杉並区）

<sup>1</sup> 平成 27 年 8 月 1 日現在調査「特別区連携自治体数一覧」には記載がない事業

## (2) 既存事業

### ① 交流・全般

- \*伊那市との相互交流（新宿区）
- \*区民の「第二のふるさと」川場村を通じた交流（世田谷区）
- \*「なかの里・まち連携自治体」との連携交流（中野区）
- \*長野県安曇野市・山形県鶴岡市・新潟県南魚沼市との交流（江戸川区）

### ② 産業

- \*ちよだフードバレーネットワークによる農商工連携（千代田区）
- \*ちよだプラットフォームスクエアによる連携（千代田区）
- \*中小企業都市連絡協議会（大田区）
- \*産業のまちネットワーク推進協議会（大田区）

### ③ こども

- \*能代市との教育連携（豊島区）
- \*防災ジュニアリーダーの釜石訪問（荒川区）

### ④ 環境

- \*地方との連携による森林整備・低酸素社会の実現（千代田区、港区、新宿区、中野区）

### ⑤ 災害協定

- \*災害時の相互援助の拡充（千代田区、港区、新宿区、品川区、豊島区）

### ⑥ テーマによる交流

- \*忠臣蔵サミット参加都市との交流促進事業（墨田区）
- \*沿線サミット（豊島区）
- \*幸せリーグ総会・実務者会議（荒川区）

### ⑦ その他

- \*自治体コンソーシアム（豊島区）

## 自治体間連携に関する各区の基本的考え方

○区は、エネルギーや食料など、経済活動、生活全般にわたって地方に支えられて成り立っていることも認識しなければならない。地方との連携を推進し、さらに、中小企業や商工業の活性化を支援することにより、区の活力を高めていく。(千代田区／基本目標3／リード文)

○人、エネルギー、食料、あるいは水や空気にいたるまで、全国各地の自治体の支えがあって、都市に暮らす私たちの日々の生活は成り立っています。それぞれの自治体を持つ強みを活かし、弱みを補完する自治体間相互の共存・共栄をめざすことで、区民生活の向上につながっていきます。(港区／区長あいさつ)

○地方との連携は、友好都市・伊那市を中心に取組んでいきますが、これまでに交流実績のある市町村や、「特別区全国連携プロジェクト」など多様な機会の創出により、地方と連携し共に発展していきます。(新宿区／基本目標2)

○本区の人口は、他自治体からの流入・転入等による影響が大きいことから、他自治体との交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合い、ともに発展・成長しながら共存共栄を図ることが求められています。(文京区／4基本目標 観光・交流／現状と課題)

○台東区が国際文化観光都市として一層の飛躍を遂げ、日本全体の活性化につながるよう、その成果を全国のさまざまな地域へ波及させて、地方との共存共栄を実現していくことが重要となります。(台東区／区長あいさつ)

○姉妹都市や友好都市との交流・連携を拡充し、物産や観光振興などによる地域連携を強化するなど、本区と他都市がともに発展するしくみをつくります。(墨田区／基本目標Ⅲ／基本的方向)

○品川区は、日本の人口減少が自らの課題であると認識し、地方とともにこの問題を克服するため、地方の各自治体との交流・連携を深め、地方とともに発展する取り組みを推進します。(品川区／基本目標3／政策の基本的方向)

○「地方の創生」は、東京圏への人口の過度の集中を是正することに主眼が置かれていますが、一方で、国全体の活力を高めるためには、人口回復、中でも出生率の向上が不可欠であり、超高齢社会が間近に迫っている東京の区部においては、とりわけ能動的な大都市ならではの対策が必要であると考えます。(目黒区／1基本的な考え方／1総合戦略の意義)

○大田区は、陸・海・空の結節点として国内外を問わず多くの人材や資源が集積する日本の玄関口であり、その地域経済活動の動向が日本の未来に大きな影響を及ぼす重要な立場にあると言えます。そのため、国の掲げる地方創生を、決して地方だけの問題にせず、自らの課題として捉え、大田区と地方が共に栄える明るい未来を目指し、取り組みを進めていくことが重要です。(大田区／区長あいさつ)



○東京一極集中、それは視点を変えれば、東京の一人勝ちといわれながら、これから高齢化が一番進むのも東京、出生率が一番低いのも東京といった、実は深刻な課題を多く抱えている東京への課題提起であるとみることができます。[…]今こそ、総人口減少という全国的な課題解決に向けて、地方とともに相互に発展・成長し一層活性化する共存共栄の取組みを展開することが重要であると考えます。(世田谷区／2策定にあたって)

○「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に示された、「東京圏への国際都市としての発展」、「地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし日本全体をけん引する『プラスサム』をめざす」といった将来の方向を反映します。地方と都市の連携強化により相互発展を図ります。

(中野区／第1章基本的な考え方)

○地方創生については、現在人口が減少している地方の問題として、あるいは都市と地方の二項対立としてとらえる風潮がありますが、人口減少に歯止めをかけ活力ある日本社会を維持していくためには、現在人口が減少していない自治体も日本全体の問題として認識し、共に取り組んでいくという視点が欠かせません。(杉並区／1 総合戦略策定の趣旨)

○交流を持つ自治体との連携を深め、豊島区と他自治体における相互補完モデルの構築を目指します。連携を図ることで、様々な地域と共生し、ともに豊かな生活を実現できるまちづくりを進めていきます。(豊島区／基本目標3／基本的方向)

○北区も含め、東京都、国全体として人口減少という課題解決に取り組むためには、他自治体と共に栄えていくことが不可欠です。国や東京都、他区市町村との連携・協力を推進するとともに、首都東京の自治体として他自治体との友好関係を築き、相互発展や共存共栄を図ります。(北区／基本目標V／リード文)

○全国の自治体が密接に連携・協力し合い、互いのよい部分を活かして共に発展していく「プラスサム」の関係を構築し、荒川区と全国各地域が共に栄える将来を目指します。(荒川区／基本目標4／基本的方向)

○特別区全国連携プロジェクトを通じ、既に交流のある都市だけでなくこれまで交流のなかった都市との交流を深め、都市間の連携を図ります。(板橋区／戦略目標Ⅲ／施策に関する基本的方向)

○区内産業の活性化や地方都市との連携による本区魅力の向上(葛飾区／基本目標3)

○地方との交流によって歴史・文化や観光、産業資源等の魅力を相互に共有し、ヒト・モノの動きを通じた双方の発展や活力の向上に繋がります。(江戸川区／基本目標3／講ずべき施策に関する基本的方向)



№	区名	策定期期	名称	基本目標	重要業績評価指標(KPI)			具体的事業	事業数	事業分野
					指標	目標値 (平成31年度)	現状値			
10	目黒区	平成28年3月	目黒区まち・ひと・しごと総合戦略	【基本目標3】 新たなにぎわいの創出と多様な人 と人の交流を促す	—	—	—	57・国内自治体交流事業の実施	3	その他(調査)
								58・角田市阿武隈リバーサイドマラソン大会参加ツアー		スポーツ
								59・区民まつり		文化交流
11	大田区	平成28年3月	大田区まち・ひと・しごと創生総合戦略	【基本目標2】 羽田空港を擁する地の利を活か し、地方との連携・交流・共存共栄 を図るとともに、国際都市としての 発展を目指す	羽田空港跡地第1ゾーンの整備進 捗率(%)	80%以上	30% (平成26年度)	60・空港跡地のまちづくり	9	産業 文化交流
					OTA ふれあいフェスタに出展した 地方友好都市・団体等の数(団 体)	15団体	10団体 (平成27年度)	61・ふるさと体験ツアーのPR支援		文化交流
					友好都市ふれあいひろばの参加者 数(人)	5,500人	4,000人 (平成27年度)	62・区内で行われるイベント・展示会等への出展		文化交流
					区の保養施設を利用した区民の数 (人)	34,000人	17,450人 (平成26年度)	63・友好都市パネル展の実施		文化交流
								64・友好都市ふれあい広場への支援		文化交流
								65・区立保養施設の利用率促進		施設利用
								66・中小企業都市連絡協議会		産業
								67・産業のまちネットワーク推進協議会		産業
12	世田谷区	平成28年3月	世田谷区総合戦略	【基本目標③】 「心豊かな暮らしを実現するための 地方・都市との連携・交流」	川場村との交流事業	継続	—	69・区民の「第二のふるさと」川場村を通じた交流	8	文化交流
					自治体との交流事業	継続・拡充	—	70・自治体との交流事業		文化交流
					様々な交流事業への周知PR	拡充	—	71・様々な交流実現に向けた周知PR		観光・産業
					(仮称)交流自治体連合フォーラム 開催	年1回	—	72・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を通じた交流事業		スポーツ
					川場村等交流自治体の自然エネ ルギー事業による連携、仕組みの 構築(区民が自然エネルギー創出 事業に参加及び自治体等の創出 するエネルギーを購入できる仕組 み)		—	73・(仮称)交流自治体連携フォーラム		その他
					広域連携連絡会開催	年1回	—	74・川場村等交流自治体の自然エネルギー事業による連携		環境
					広域連携ワークショップ開催	年1回	—	75・災害協定締結自治体との広域連携連絡会		災害協定
								76・交流自治体との広域連携ワークショップ		産業
13	渋谷区	平成28年3月	渋谷区まち・ひと・しごと創生総合戦略	地方との連携記載なし				0		
14	中野区	平成28年3月	中野区まち・ひと・しごと創生総合戦略	【基本目標Ⅳ】 地方と都市の連携強化により、相 互発展を図る	なかの里・まち連携事業における交 流事業数	60事業	53事業 (平成26年度(2014年度))	77・連携事業の拡充・推進	4	観光・産業
								78・連携自治体との経済交流の展開		産業
								79・連携自治体の生産者等と区内事業者・団体との交流を推進		環境
								80・連携都市とのカーボン・オフセットの推進		その他(住まい)
15	杉並区	平成27年11月	杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略	【基本目標3】 地方との連携により、豊かな暮らし をつくる	交流自治体と連携したフレンドシ ップスクールの実施	23校	7校	81・交流自治体と連携したフレンドシップスクールの実施	11	子ども
					交流自治体等への交流・体験学 習事業の実施	525人	105人	82・交流自治体等への交流・体験学習事業の実施		子ども
					交流自治体物産展・情報発信の 充実	1,500万円	1,000万円	83・交流自治体物産展・情報発信の充実		観光・産業
					交流自治体とっておき情報の発信	2回	—	84・交流自治体とっておき情報の発信		文化交流
					交流自治体体験・交流ツアーの開 催	120人	—	85・交流自治体体験・交流ツアーの開催		文化交流
					「すぎなみ地域おこし協力隊」の創 設・活動支援	160人	—	86・「すぎなみ地域おこし協力隊」の創設、活動支援		その他(人材)
					交流自治体との連携による若者の 出会いの場の創出支援	30人	2人	87・交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援		その他(婚活)
					交流自治体におけるふるさと就労 体験の実施	5人	—	88・交流自治体におけるふるさと就労体験の実施		その他(就労)
					南伊豆町との連携による特別養護 老人ホームの整備	100%	—	89・南伊豆町との連携による特別養護老人ホームの整備		福祉・健康
					南伊豆町「お試し移住事業」への 参加支援	60人	—	90・南伊豆町「お試し移住事業」への参加支援		その他(住まい)
					小千谷市滞在型農園の区民の利 用支援	80%	—	91・小千谷市滞在型農園の区民の利用支援		その他(住まい)
16	豊島区	平成28年3月	豊島区まち・ひと・しごと創生総合戦略	【基本目標3】 様々な地域と共生・交流を図り、豊 かな生活を実現できるまち	豊島区版CCRC構想の推進 ①移住に関する説明・相談への参 加者数 ②移住体験ツアー参加者数	①100人 ②20人	①0人 ②0人	92・豊島区版CCRC構想の推進	7	その他(住まい)
					自治体コンソーシアム参加自治体 (累計)	100自治体	40自治体	93・自治体コンソーシアム		その他
					特別区全国連携プロジェクト連携 事業数	H27開始	新たな連携事業の実施	94・特別区全国連携プロジェクトホームページの運用によるマッチング事業		—
					自治体交流事業の参加者に対 して行う満足度調査(5段階評価)	4以上	—	95・相互交流事業(例：一日豊島区民の旅)		観光
					他自治体との教育連携の推進 ①子ども体験交流の派遣人数 ②派遣団の派遣人数	①24名 ②20名	①16名 ②14名	96・沿線サミット(西武線、東武東上線)		文化交流
								97・他自治体との災害時協定		災害協定
								98・能代市との教育連携		その他(教育)

№	区名	策定期間	名称	基本目標	重要業績評価指標(KPI)			具体的事業	事業数	事業分野	
					指標	目標値 (平成31年度)	現状値				
17	北区	平成28年3月	北区まち・ひと・しごと創生総合戦略	【基本目標V】 他自治体と共に発展できる取り組みを進める	自治体との防災協定締結	11 団体	6 団体	99	4	・防災協定の締結	災害協定
					友好都市交流協定	4 団体	3 団体	100		・友好都市交流協定の締結	その他
					他自治体と連携した事業数(年間)	16 事業	11 事業	101		・特別区全国連携プロジェクトによる他自治体との交流	—
					新たに連携を始めた自治体数	5 団体	—	102		・他都市との新たな連携・交流の推進	その他(研究会)
18	荒川区	平成28年3月	荒川区しごと・ひと・まち創生総合戦略	【基本目標4】 「全国の自治体とプラスサムの関係を構築する」	他自治体の実務担当者同士の意見交換回数	30 回	15 回	103	17	・幸せリーグ総会の開催	その他
					交流都市数	300 自治体	116 自治体	104		・幸せリーグ実務者会議の開催	その他
					荒川区と他自治体との連携事業数	100 事業	54 事業	105		・特別区全国連携プロジェクトの推進	—
					交流都市との相互交流事業に参加した区民・市民等の合計	1,500 人	1,249 人	106		・奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会	文化交流
					議会による先進自治体への視察回数	80 回	63 回	107		・松山市観光俳句ポストの設置	文化交流
								108		・友好都市スポーツ交流事業	スポーツ
								109		・川の手荒川まつり	観光
								110		・交流都市フェア	文化交流
								111		・あらかわの伝統技術展	文化交流
								112		・区内企業の販路開拓	産業
								113		・子どもの自然体験	子ども
								114		・他自治体との災害時相互応援体制の構築	災害協定
								115		・あらかわキャラバン	文化交流
								116		・防災ジュニアリーダーの釜石訪問	子ども
			117	・荒川こころぼん体操キャラバン隊	その他						
			118	・荒川区制作広報番組(ケーブルテレビ)での自治体紹介	健康・文化交流						
			119	・チャレンジキャンプ	子ども						
19	板橋区	平成28年1月	板橋区人口ビジョン及び総合戦略2019	【戦略目標Ⅲ】 都市の連携・再生と超高齢社会に 適応した社会づくり	特別区全国連携プロジェクトなどによる都市連携数	↑	延べ76団体	120	・特別区全国連携プロジェクト	2	—
				「とれたて村」交流自治体数	維持	16団体	121	・友好都市との交流分野の拡大	文化交流		
20	練馬区	平成27年3月	みどりの風吹くまちビジョン	地方との連携記載なし						0	
21	足立区		策定中							0	
22	葛飾区	平成28年3月	葛飾区総合戦略	【基本目標3】 区内産業の活性化や地方都市との 連携による本区の魅力の向上	黄さんサミットへの参加地域数	20	—	122	・黄さんサミット	2	文化交流
					キャプテン翼CUPかつしか ①大会来場者数(人) ②交流自治体数	①9,800 ②10	①— ②—	123	・キャプテン翼CUPかつしかの開催		子ども
23	江戸川区	平成28年3月	江戸川区総合戦略	【基本目標3】 地方との連携による共存・共栄	全国連携プロジェクト連携事業数	20事業	—	124	・全国連携プロジェクトによる地方との交流	4	—
					安曇野市への訪問者数	100人	70人	125	・長野県安曇野市との交流		施設利用、こども、 文化交流、産業
					安曇野市からの来訪者数	250人	249人				
					穂高荘利用者数	25,600人	22,085人	126	・山形県鶴岡市との交流		子ども、文化交 流、 産業
					鶴岡市への訪問者数	100人	95人				
鶴岡市からの来訪者数	520人	513人									
南魚沼市からの来訪者数	30人	28人	127	・新潟県南魚沼市との交流	施設利用 文化交流						
塩沢江戸川荘利用者数	18,100人	17,433人									